



チーム一丸となつて質的成長を实践すること

弁護士法人 匠総合法律事務所

代表社員

秋^{あき}野^の卓^{たく}生^お

私は、今、法律事務所の質的成長というものにトライしている。スポーツでいえば、チーム全員で行なう筋トレや基礎トレーニングである。信じ合う仲間がチームとなり、目の前の壁を突き破って進むべく、自らに負荷をかけ全力でトレーニングをするチーム。それが最も強いチームであることは、スポーツの世界では当たり前のことである。

小学生の頃からスポーツに打ち込んだ学生生活では、常にストイックに練習に励み、そして部員全員で目標に向かって励まし合い、がんばっていた。

今までの人生で一番幸せだった瞬間を述べよ、と言われたら、高校二年生の春頃だったか、部活（ハンドボール部）の仲間と帰宅途中、神奈川県で上位二チームに入って関東大会に出場するにはどうすればよいか、皆で話し合った「あの瞬間」である。話していると熱が入った。そして、「よし！ もっと体を大きくしてディフェンスを引きずりながらシュート

できるようにしよう！」と、疲れた体に鞭を打って筋トレに励んだ。

私にとっての幸せとは、「チームの皆と目標に向け、全力でがんばる今、この瞬間」であると思う。小学二年生のとき、地元サッカークラブのキャプテンに就任した。試合で負けると悔しくて、皆に隠れて泣いた。私はゴールキーパーで自分では動けないので、皆がどうやって動けば勝てるのか、皆とよく話し合った。その後もスポーツに真剣に取り組み、その時々にて真剣に考えた。そして形成された人格が、今の私の根幹である。

法律事務所を経営する弁護士となった今、苦しい筋トレは、「クライアントのため、限界までがんばる仕事」となり、カタチは変わったが、私の考え方を信じ、ついてきてくれる弁護士は、皆、向上心が高く、事務局スタッフも、私が強いチームをつくりたいという気持ちを応援してくれる。こうして弁護士集団である法律事務所の中なかでも「最も強いチーム」に成長するため、チーム内が一体となり、皆が質的成長を果たそうと努力する。スポーツに打ち込んだ学生時代も幸せだったが、今も幸せである。

このチームの皆に「活躍し、幸せになってもらうこと」が、リーダーである私の責務であり、この責務を感じることができるとも幸せであり、喜びである。

一丸となつて前に突き進むチームメートの皆に、心から感謝申し上げたい。